

加齢性難聴について

人の言葉が聞き取りにくくなったと感じることはありませんか? 加齢性難聴は年齢を重ねるにつれて音を感じる能力が低下する 現象(感音難聴)のこと。

聴力の低下は生活に大きな影響を及ぼし、認知症につながる危 険性も秘めています。

補聴器でもききとりにくい方へ

講演では、難聴と認知症の関係や、最新の難聴治療として人工 内耳・人工聴覚器全般について分かりやすくお話します。 聴こえでお悩みの方、補聴器を装用しているけれど満足されてい ない方など、聴こえでお悩みの方は是非ご参加ください。

※人工内耳とは、高度・重度難聴の方が対象となる医療機器で、健康保険の対象です。

PROGRAM

情報保障/要約筆記

※「きこえの仕組みから考える難聴最新治療と認知症予防」

近畿大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 講師 佐藤 満雄先生

講 「これからの難聴治療:人工内耳という選択」

近畿大学医学部 耳鼻咽喉·頭頸部外科学 教授 山中 敏彰先生

(講演) 「人工内耳のきこえとリハビリテーションについて」

近畿大学病院 リハビリテーション部 國頭 梨奈先生

4 質疑応答 5 個別相談

12/13e

13:30~15:30 (受付開始 13:00)

会場

国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)中研修室

大阪府堺市南区茶山台 1-8-1

泉北高速鉄道「泉ケ丘」駅で下車、徒歩約3分



参加無料

お申し込みは

事前申し込み制 (先着 100 名様)

申し込み締切:12/10 永

FAX または QR コードからお申し込みください。

FAX: 06-6201-1168

電話での申し込みは受け付けておりません。予めご了承ください。

お申し込みに関するお問い合わせ:株式会社日本コクレア メール:apac-japan-info@cochlear.com



主催:メディカルケアコネクト 協力:近畿大学医学部 耳鼻咽喉科 協賛:株式会社日本コクレア

お申し込み 先着順 締め切り 12/10 (水) 応募人数に達し次第、応募を締め切らせていただく場合がございます

コチラの用紙に記入の上、FAXを送信ください

FAX 06-6201-1168

記入日	2025年	月				
氏名	フリガナ					
(代表者)						
メールアドレス						
電話番号				FAX番号		
住所						
● イベント参加 □ ご本人	ト】※該当の□に □はどなたのため □配偶者 □父 の参加者のお名	ですか? :/母 [? □お子さま		☑人 □その他	
・参加者(2 人目)のお名前(
・参加者(3 人目)のお名前(
・参加者(4人目)のお名前()						
●個別相談に	ついて ※先着順					
□希望する	□希望しない	١				
きこえにお悩みの方についてお差支えなければ、下記にご記入ください。						
●ご年齢をお	選びください					
□3歳未満	□3~1	7歳	□ 18 ~	~29 歳	□ 30 ~ 49 歳	
□ 50 ~ 64	1歳 □65~	79 歳	□ 80 歳	以上		
●現在の「き	こえ」について	-				
□聞こえにくさはない □聞こえにくさはあるが補聴器は装用していない						
□補聴器を装用したら聞こえる □補聴器を装用してもほとんど聞こえない						
□その他()		
●装用につい	7					
□装用して	いない □補照	器(片位	則) □補聴	器(両側) 🗆]人工内耳と補聴器	□人工内耳
	した個人情報は、個人 ・ 人工聴覚器に関す				管理いたします。	